

# アウトドアと危険物 きけんぶつ

アウトドア用品には多くの危険物が使用されています。  
安全にアウトドアを楽しむため 危険物や可燃性ガスが持つ危険性と  
事故を防ぐためのポイントを確認しましょう。

区分	物品	主な用途	性質、注意事項など
引火性液体	ホワイトガソリン	バーナー、ランタン などの燃料	<ul style="list-style-type: none"> <li>揮発しやすく寒冷地でも着火しやすい</li> <li>静電気などでも着火する</li> <li>水をかけると燃え広がる</li> </ul>
	メタノール エタノール	アルコールストーブ などの燃料	<ul style="list-style-type: none"> <li>炎が青白く明るい場所では見えづらい</li> <li>大量の水で簡単に消火できる</li> </ul>
	灯油	ストーブ、ランタン などの燃料	<ul style="list-style-type: none"> <li>燃料に使用される身近な危険物</li> <li>水をかけると燃え広がる</li> </ul>
	パラフィンオイル	ランタンなどの燃料	<ul style="list-style-type: none"> <li>石油を蒸留して精製された液体</li> <li>においが少なく煤が出にくい</li> </ul>
引火性固体	ゼリー状着火剤	木炭などの火起こし	<ul style="list-style-type: none"> <li>メタノールが主成分で着火しやすい</li> <li>火を点けたら継ぎ足さないこと</li> </ul>
可燃性ガス	プロパン イソブタン ブタン	バーナー、こんろ などの燃料	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガスを液化しカートリッジに充填している</li> <li>プロパン比率が大きいほど高出力で、低温でも使用できる</li> </ul>

## 引火性液体を使用するときの注意事項！

- ① 指定された燃料を使用しましょう。
- ② 燃料は 専用の容器に入れましょう。
- ③ 燃料を入れた容器の取扱いに注意しましょう。



## ゼリー状着火剤を使用するときの注意事項！

- ① 着火剤の「継ぎ足し」は絶対に行わない。
- ② 着火剤を火気の近くに置かない。



小型消火器などを準備して使用しましょう！